

『令和5年の新年に当たり』

会長 大町 恒夫

三段池ランニングクラブ会員の皆様 新年明けましておめでとうございます。

ご家族様の皆様と共に気持ち新たに良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ感染症は日本に初上陸してから丸3年が経過して4年目に突入し、現在第8波で感染者は全国的にも世界的にも増大し、亡くなられる方も今までになく多くなっている状況です。皆さんも十分気を付けつつ練習や大会参加に励んで下さい。

また、私が会長に就任してから約3年、コロナの中で何もできない状況が続き年齢の影響もありますが体力・気力に衰えを感じ、奮起しないとと思っています。

昨年は思わぬ出来事が多く、ロシアによるウクライナ侵攻、安倍元首相の銃撃死、そして、一番悲しかったのは三段池ランニングクラブを立上げ育ててこられた長谷川顧問が亡くなられたことでした。これからも残された我々が三段池 RC を維持向上させていかなければと心新たにしたところです。

しかし、少しずつですがスポーツイベントも開催されるようになり、昨年は福知山マラソンも開催され我 RC から沢山の選手が完走してくれました。

今年の新年走り初めには30名を超える会員に参加いただき、晴天の中爽やかなランと美味しい「ぜんざい」をいただき “今年もゆっくり楽しく走る” ためのスタートが切れたように思います。今年一年くれぐれも健康に気を付けて楽しく明るく前に進んで下さい。

令和5年

1月1日 走り初め！



『走ってよかった節目のラン』

伊田 育子

実家の祖母の介護もプラスされ自分のやりたい事ではなく、今やらなければ後悔するであろう事を優先した2022年。

当初、エントリーする気もなく過ごしていました。でも福知山マラソン30周年、三段池 RC 25周年、ランニングを始めて10年！ 練習も出来てないしハーフでやめてバスで帰ったらいいや!と思いエントリーする事に。

大会当日は悲しいくらいの雨でしたが走ってなかった分、故障がなく膝も痛くない。このままいけるか?と思った35キロ地点からが長かった～。

ラスト3キロは歩いてゴールを目指す...。ゴール手前で波多野さん達の「伊田ちゃんやん!」の声でラストは走って無事完走しました。

ワーストタイムでしたが後悔もなく、節目の年となりました。

寒い中、応援、サポートして頂き、すっかり甘えさせていただきました。

ありがとうございました。

『 3年ぶり福知山マラソンのかんそう 』

井上 義明

待ちに待った、福知山マラソンの再開。見込まれていた参加者数は大きく下回って大会関係者はやきもきの日々だったと思います。無事開催されて本当に良かった。

さて大会当日、昨日からの雨は、朝からザーザー雨へ。重たい空気の中スタート時間が近づく。ビニール袋を被ってスタートエリアへ。しまった、アームカバーしてないやん。手袋上着のポケットへ入れたまま脱いできた。最悪！開き直っていると、雨は小降りに。いよいよスタート、参加者が少ないせいで、スタートゲートくぐるまでの時間もあっという間で、見送られる時間の少ない名残惜しいスタートとなりました。

そんな中、スタート直前に娘から「お孫ちゃん応援に行くで、どこがいい？」と急なリクエスト。地元開催ならではです。音無瀬橋で寝起きの応援をもらって、じいじは元気いっぱい、はやる気持ちを抑えて再スタート気分で行く、スタート直後から小降りの雨もほぼ止み、ビニール袋は腰に引っ掛け、予定通りのペース配分で順調に走行しました。

ところが、天は味方しませんでした。折り返しに近づく頃、ここまでもっていた雨も限界。雨との戦いの始まりでした。時より強く降る雨、靴はぐしょぐしょ、折り返し後のおにぎりもなく、ジェルを頼みにひた走りました。コロナと雨のせいもあってか、沿道でのいつもの応援は少なく感じました。でも、例年の高校生バンドや力強い太鼓の応援は雨の降る中でも一生懸命演奏してくれていて、雨に負けそうな心に気合を頂きました。終盤、笹巻付近からまた雨が小降りになり、いつもなら足が止まってしまうところなのですが、以外にもペースダウンすることなく力強く俺我まで、そしてゴール目ののぼりはつらかったけれど、ゴール前にクラブのみんながスタンバっていて、少し見栄張って手を振る余裕、最後の応援をいただき、目前スパートで最後まで力いっぱい走りきりゴールすることができました。

コロナ禍でのオンラインマラソンには参加してきましたが、やはり本物はいいです。この達成感、次回も味わいたい。あったかいラーメンもね。



令和4年11月23日
“ 福知山マラソン大会 ”

お知らせ

「3月の市民駅伝は、残念ながら今年も中止となりました」 (2/2 両丹新聞掲載)